

<真剣味> 1 1 6

2022. 9.30

- ・夢は進むべき道を照らしてくれる人生の灯台・たくさん傷ついた木こそ立派な幹をもつ
- ・日々の努力がいつか必ず花を咲かせる
- ・自分に合った歩幅で歩めばいい
- ・大きく深呼吸吸気持ち新たに
- ・明日はきっと良くなる、まずは信じる
- ・優しく笑って和む穏やかな日々に
- ・立ち止まってひと息ついてまた進もう
- ・あと一歩のひと踏ん張りが成長する一歩になる

【秋季大会を終えて】

- ・秋季大会で、こんなに多くの試合を行い、また沢山の良い経験ができたことは本当に有難く、是非、今後の試合にプラスにしていきたいと考えております。内容については、この時期ならではのプレーが多かったようです。
- ・新潟トーナメント... 1 試合、敗者復活戦... 2 試合、信越大会... 2 試合
- ◎新チームになりこんなに早い時期に 5 試合できるなんて本当にびっくりです。
- ただ、誰もが、このまま新人戦でうまくいくとは思っていないはず。

【試合では】

- ①バッテリーが協力して、アウトを重ねることを考える。
- ②投手は自分の「～らしいピッチング」を身に付ける。捕手は各投手の特徴を把握する。
- ③投手はランナーが出塁しても「焦らない。」けん制をしたり、ボールを長く持ったりなど工夫して投球する。
- ④内野・外野からもプレーのアドバイスや気持ちの入った声で流れを引き留める。
- ⑤相手の攻撃の際、失点してもこちら側は単調にならず、メリハリをつけ、さらに「1 球に集中してプレーし」凡ミスを避ける。あの 1 点さえなければ、の反省にならないように。
- ⑥打者は自分の特徴を身に付ける。打つ場面では打たれないでしっかり振る、送る場面ではチーム優先で初球から確実に送る。試合でフライを上げて惜しかった、ではランナーになれません。
しっかりタイミングをとる・しっかりミートする・<低くて、早い打球を打つ>そして全力疾走で駆け抜ける。間一髪でいいからセーフをもぎ取る。

◎本当の元気、本当の全力疾走をして、みんなで高め合うチームになろう。

【新人戦に向けて】

- 人が見ていても見ていなくても、自分にプラスになることはまずやってみる。そして続ける。家でもグラウンドでも。成果が出てくると人はもっともっとと続ける。
～チャンスの先どり～いつチャンスが来てもいいように準備しておく。
- 他人に教えることで、その内容が自分にも身に付いている。例)自分と同じポジションの後輩に、グラブはこうするといいかもね。また、今のステップとっても良かったよ。など
～変われる時に変わる～
- その場限りの一生懸命はいらない。やったふり・わかったふりは命とり。
～大事な場面で本当の自分が出てしまう～
- 試合中、うまくいかない時には、そのままにせず、心のスイッチのマイナスからプラススイッチを ON に切り換える。